

【お詫び】運転士が列車を運転中に居眠りをしていたことについて

多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：奥山 宏二）では、運転士が運転中に居眠りをしていたことが判明いたしました。

ご利用のお客さまには、大変ご心配をおかけしましたことを深くお詫びするとともに、再発防止に向けて全運転士に対する指導を徹底いたします。

記

1. 発生日時

2026 年 8 月 27 日（木） 9 時 21 分～ 9 時 23 分頃
9 時 28 分～ 9 時 30 分頃

2. 発生場所

多摩都市モノレール 程久保駅 ～ 多摩動物公園駅間
大塚・帝京大学駅 ～ 松が谷駅間

3. 当該列車

普通 上北台駅 8 時 54 分発 多摩センター行 4 両編成 ATO 自動運転

4. 乗車人員

約 150 名

5. 概況

当該列車をご利用のお客さまから運転士が居眠りをしているのではないかとのご指摘をいただきました。事実確認をしたところ程久保駅～多摩動物公園駅間および大塚・帝京大学駅～松が谷駅間において一時的に居眠りをしていたことが判明しました。

ご乗車のお客さまにお怪我等はございませんでした。また、列車の遅延等、運行への支障もございませんでした。

6. 原因

運転士が一時的に眠気を催したため。

7. 再発防止策

全運転士に対し、本件事象を周知するとともに、お客さまの命をお預かりしているという運転士の職責の重さについて改めて教育するなど、再発防止に向けた指導を徹底してまいります。

以 上